

委員会名	予算決算委員会
調査研究 テーマ	「いいだ未来デザイン2028」の評価・検証 (議会による行政評価の実施)
テーマ設定の 背景	・飯田市自治基本条例第22条の規定により議会による行政評価を行い、市の執行機関の活動を監視することによって、適正な行政運営の確保に努める。また、議決事件とした基本構想基本計画の進行管理に関与することで、議会としての責任を果たす。
調査研究の 経過・結果	<p>〔課題整理〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いいだ未来デザイン2028」の進行管理のため、議会として、戦略計画を中心に基本目標ごとに評価・検証を行い、執行機関に対して提言を行う。 ・2021年度の実績をもとに、基本目標、年度戦略(小戦略)、事務事業、分野別計画を対象として、評価の視点に基づいて評価を行うが、今年度は「中間期審査」の2年目にあたるため、各分科会において、令和3年度の評価報告等を受けた後、本年度の評価対象とする基本目標、分野別計画を選定する。 ・事務事業評価については、例えば3常任委員会の所管事務調査に関わりの深い事務事業、基本目標・年度戦略の評価において課題があると思われる項目に関連する事務事業等を選定し、決算審査とは別に評価を行う。 <hr/> <p>〔取組経過〕※事前の取り組み内容も含む</p> <p>【令和4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 4月25日 準備会 行政評価に向けた方針等の協議 ➤ 5月6日 準備会 行政評価の方向性についての協議 ➤ 5月16日 準備会 実施要項(原案)の協議 ➤ 6月3日 準備会 実施要項(原案)の協議 ➤ 6月7日 委員会(第2回定例会中日全体会) 実施要項(原案)の協議 ➤ 6月14日 準備会 実施要項(案)の協議 ➤ 6月17日 委員会(第2回定例会後期全体会) 実施要項の確認 所管事務調査決定、閉会中の継続審査決定 ➤ 7月20~22日 行政評価ステップ1 各分科会、連合会議 執行機関から実績説明を受ける。評価対象事務事業の選定 ➤ 7月23~29日 行政評価ステップ2 個々の議員による評価 ➤ 8月2・3日 行政評価ステップ3 各分科会、連合会議 分科会による意見集約、執行機関から事務事業の実績説明を受ける。 ➤ 8月3~29日 行政評価ステップ4 各分科会 事務事業評価意見集約 8月22日 準備会 行政評価の進捗状況の共有 ➤ 8月30日 行政評価ステップ5 委員会(第3回定例会前期全体会) 分科会での検討経過の協議・確認 ➤ 9月5~15日 行政評価ステップ6 各分科会(連合会議) 評価提言内容の取りまとめと必要に応じ執行機関との意見交換

所管事務調査報告書(案)

- 9月15日 準備会 行政評価の進捗状況の共有
 - 9月16～27日 各分科会による提言内容の確認
 - 9月27日 準備会 行政評価の各分科会のまとめの確認
 - 9月28日 行政評価ステップ7 委員会(自律的全体会)
提言内容の調整と全体会での確認
 - 9月30日 行政評価ステップ8
議長から市長に提言書を手交
 - 10月31日 準備会 行政評価ステップ8までについて反省事項確認
※以降各分科会での意見集約
 - 11月16日 準備会 行政評価の反省・課題抽出
 - 12月14日 準備会 行政評価の反省・課題抽出
- 【令和5年】
- 1月24日 準備会 行政評価の反省事項から出された課題の整理について
 - 2月13日 行政評価ステップ9 準備会
「議会による行政評価」からの評価及び提言書への対応状況共有
 - 2月20日 準備会(※) 当初予算案審査に向けての状況共有
 - 2月22日 行政評価ステップ10 委員会(第1回定例会前期全体会)
当初予算議案審査
 - 3月1～6日 行政評価ステップ10 各分科会・連合審査会
当初予算議案審査、「議会による行政評価」からの評価及び提言書への対応状況、令和5年度戦略計画確認
- (※) 4年度の新たな取り組みとして、当初予算審査に向けて論点抽出のための準備会を開催した。

〔調査研究結果〕

- 昨年までの実施の課題等を検証し、「2022(令和4)年度「議会による行政評価」実施要項」(別紙資料1)を調整し、実施した。

※主な改善点等は以下のとおり。

- ・ 4年間のサイクルでどう行うかを意識し、中間期審査としての審査方法を確認した。
- ・ 事務事業評価について常任委員会の所管事務調査に関わりの深い事務事業、基本目標・年度戦略の評価において課題があると思われる項目に関連する事務事業等を選定し、決算審査とは別に評価を行うこととした。

〔補足〕これは、事務事業が予算決算に直結しており「議会の政策サイクルを回す」という視点「方向性の妥当性など上から下へ俯瞰する視点」及び「目標達成への貢献度や効果など下から上へ仰視する視点」を重視したいとの考えに基づく。

- ・ 行政評価の提言をまとめる過程で「ステップ6」において、必要に応じ執行機関側との意見交換を行った後に提言案をまとめることとした。
- ・ 各分科会において十分な検討機会を確保する目的で、これまで第3回定例会閉会日に行っていた市長への提言を執行機関の次年度予算編成作業に支障を来さない範囲において設定することとした。

所管事務調査報告書(案)

	<ul style="list-style-type: none">●令和4年9月30日に市長に提言書(別紙資料2)を手交。●令和5年第1回定例会において、当初予算議案審査、「議会による行政評価」からの評価及び提言書への対応状況確認、令和5年度戦略計画の確認。●行政評価の反省事項から出された課題の整理については(別紙資料3)のとおり <hr/> <p>[今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none">●令和5年第1回定例会終了後に、ステップ9、ステップ10を含めた行政評価全体の振り返りを実施し、あらためて次年度への申し送り事項等を確認する。
--	--

2022（令和4）年度「議会による行政評価」実施要項

1 目的

飯田市自治基本条例第 22 条の規定により議会による行政評価を行い、市の執行機関の活動を監視することによって、適正な行政運営の確保に努める。また、議決事件とした基本構想基本計画の進行管理に関与することで、議会としての責任を果たす。

2 基本方針

- (1) 「いいだ未来デザイン 2028」の進行管理のため、議会として、戦略計画を中心に基本目標ごとに評価・検証を行い、執行機関に対して提言を行う。

令和 2 年度の予算決算委員会準備会における課題整理のなかで「『いいだ未来デザイン 2028』に対する行政評価を 4 年間のサイクルでどう行うか」について、〈評価方式〉を次の①から③までのようにまとめた経緯を踏まえ、評価を実施するものとする。

- ① 初年度審査 ---- 計画初年度として、基本目標ごとに計画の構成を評価する。
 ② 中間期審査（2-3 年目）---- 委員会構成の変更を踏まえ、戦略・分野別計画の項目を分割し、重複しないよう双方を 2 年の間に評価する。
 ③ 最終年審査 ---- 基本目標の見直し年度として評価する。

- (2) 2021 年度の実績をもとに、基本目標、年度戦略（小戦略）、事務事業、分野別計画を対象として、別途作成する評価の視点に基づいて評価を行うが、今年度は「② 中間期審査」の 2 年目にあたるため、各分科会において、令和 3 年度の評価報告等を受けた後、本年度の評価対象とする基本目標、分野別計画を選定する。

- (3) 事務事業評価については、例えば 3 常任委員会の所管事務調査に関わりの深い事務事業、基本目標・年度戦略の評価において課題があると思われる項目に関連する事務事業等を選定し、決算審査とは別に評価を行う。これは、事務事業が予算決算に直結しており「議会の政策サイクルを回す」という視点「方向性の妥当性など上から下へ俯瞰する視点」及び「目標達成への貢献度や効果など下から上へ仰視する視点」を重視したいとの考えに基づく。なお、選定しなかった事務事業については、行政評価の対象外とし、決算審査において検討する。

3 実施計画

- (1) 基本的考え方

① 位置付け

行政評価は、予算決算委員会の所管事務調査として「閉会中」も継続して調査を行う。

* 6 月定例会において、閉会中の継続調査として位置付ける。

② 実施体制

行政評価の実施体制は、総務委員会、社会文教委員会及び産業建設委員会の 3 つの委員会の構成員による予算決算委員会分科会（以下「分科会」）が、各基本目標を分担して評価を行うことを原則とし、基本目標のマネジメントリーダー（執行機関の各部局長）の所属する分科会が担当する。

ただし、複数の分科会に関連する基本目標については、必要に応じて連合会議を開催することとする。また、リニア中央新幹線に関連する事項については、リニア推進特別委員会の構成員による分科会を設置し、担当分科会と連合会議を開催する。

また、評価の進め方などにおける認識の共有を図るため、予算決算委員会準備会の場、その他において分科会間の調整を行う。

③ 評価の進め方

評価の進め方については「いいだ未来デザイン 2028」に対する前年度の取り組みについて執行機関側から説明を受けた後に、まずは基本目標と年度戦略（小戦略）について、分科会を中心に評価を行う。その後に、選定した事務事業及び分野別計画についての評価を行う。なお、分野別計画については選定を必須としないが、各常任委員会の所管事務調査に関わりの深い分野別計画については、極力評価対象とするよう努めるものとする。

- ④ 評価にあたっては、別紙の「2022(令和4)年度『議会による行政評価』の評価の視点について」を参照することとし、評価の過程においては「論点抽出表」や「議員間自由討議」を積極的に活用する。各分科会、予算決算委員会準備会での調整の後、全体会を経て、議員間で共有された事項を提言としてまとめる。

(2) 具体的な取り組み

- ① 事前準備 「所管事務調査等における課題認識の共有」 ステップ1までに実施
各常任委員長の判断により、必要があればこれまでの所管事務調査等で浮かび上がっている課題等について、委員会内で認識を再共有する。
- ② ステップ1「執行機関からの説明①」 7月20日(水)、21日(木)、22日(金)
※20日を予備日設定し、産建・リニア連合会議を開催
ア 所管の分科会においてマネジメントリーダーから全ての基本目標について、「基本目標評価シート」「年度戦略(小戦略)評価シート」または「2022(令和4)年度いいだ未来デザイン戦略計画」等により説明を受ける。説明の後、必要な質疑を行う。
イ 分野別計画の説明を受ける場合には、その概要等について担当課長から受けるものとする。
ウ 複数の分科会に関連する基本目標については、該当する分科会間で事前に調整をしたうえで、連合会議を開催して説明を受ける。
エ 今回は中期2年目の中間期審査にあたることから、各分科会において評価対象とする基本目標の絞り込みを行う。連合審査の対象となる基本目標については、該当する分科会の座長、委員長で協議のうえ決定する。
オ 各常任委員会の所管事務調査に関わりの深い事務事業、意見集約の結果課題があると思われる項目に関連する事務事業など、評価対象とする事務事業の選定を行う。
- ③ ステップ2「個々の議員による評価」 提出日：7月29日(金)
別紙「2022(令和4)年度『議会による行政評価』の評価の視点について」を参考に、個々の議員によって評価を行い、期日までに評価シートを事務局に提出する。
- ④ ステップ3 「分科会による意見集約」
「執行機関からの説明②」 8月2日(火) 3日(水)
ア 上記③の「個々の議員による行政評価」に基づいて、分科会としての意見を集約する。意見集約にあたっては、論点抽出表の利用による論点整理に努めると共に、議員間自由討議を積極的に用いる。
イ 複数の分科会に関連する基本目標については、該当する分科会間で事前に調整をしたうえで、連合会議を開催して意見の取りまとめを行う。
ウ 選定した事務事業について、執行機関からの説明を受けた後、必要な質疑を行う。
- ⑤ ステップ4 「事務事業評価」 各分科会で日程調整
ア 個々の議員による事務事業評価を持ち寄り、分科会としての意見を集約する。意見集約にあたっては、論点抽出表の利用による論点整理に努めると共に、議員間自由討議を積極的に用いる。
イ 分科会としての論点整理、意見集約を決算審査にどう生かすかについて協議する。
- ⑥ ステップ5 「分科会での検討経過協議・確認」 8月30日(火) 前期全体会
分科会での検討経過について、第3回定例会の予算決算委員会前期全体会において委員長が報告し、全体で協議・確認を行う。
- ⑦ ステップ6 「評価提言内容の取りまとめと執行機関との意見交換」
9月5日(月)～15日(木)
ア 決算審査を経た後に、各分科会において一旦評価提言の内容について、概略を取りまとめる。
イ 取りまとめたものを各マネジメントリーダーに提示し、必要に応じて担当部課長との意見交換を行った後に、分科会としての提言案をまとめる。

- ⑧ ステップ7 「提言内容の調整と全体会での確認」 9月30日(金)を期限
※日程は後日調整
ア 各分会としての提言案がまとまった段階で予算決算委員会準備会を開催し、評価・検証のまとめ、提言内容等について調整を行う。
イ 全体会において、評価・検証のまとめや提言内容の共有を図る。
- ⑨ ステップ8 「提言」 ステップ7以降 日程調整
ア 執行機関の次年度予算編成作業に支障を来さない範囲において日を設定し、議長から市長に対し提言を行う。
イ また、委員長立ち会いのもと、分科会正副座長において、所管する部長への提言についての説明を行う。
- ⑩ ステップ9 「提言後の進行管理」
ア 閉会中の所管事務調査として、分野別計画の調査等を進め、決算と予算を連動させるために、論点や争点の明確化など審査に深みをもたせるための準備を進める。
イ 提言に対する執行機関の対応状況についての資料を、可能な範囲において早い時期の提出を求め、予算審査に向けての検証と論点整理を行う。
- ⑪ ステップ10 「当初予算案の審査」
令和5年第1回定例会において、当初予算案を審査する。

(3) 日程

- ① 資料提供 企画課から議会事務局へ 7月14日(木) 期限(最終の期限)
→ 7月15日(金) (最終の期限) 議会事務局から各議員へ配布

② ステップ別の日程

事前準備	各分科会	ステップ1までに実施
ステップ1 「執行機関からの説明①」	各分科会 連合会議	7月21日(木) 22日(金) 20日(水) 産建・リニア連合会議
ステップ2 「戦略計画に対する個々の議員による評価」		提出日：7月29日(金)
ステップ3 「分科会による意見集約」 「執行機関からの説明②」	各分科会 連合会議	8月2日(火) 3日(水)
ステップ4 「事務事業評価」	各分科会	各分科会で日程調整
ステップ5 「分科会での検討経過協議・確認」	前期全体会	8月30日(火)
ステップ6 「評価提言内容の取りまとめと執行機関との意見交換」	各分科会 (連合会議)	9月5日(月)～15日(木) 各委員会の審査日、予備日活用
ステップ7 「提言内容の調整と全体会での確認」	予決算委員会	9月30日(金)を期限 ※日程は後日調整
ステップ8 「提言」		ステップ7以降 日程調整
ステップ9 「提言後の進行管理」	各分科会	～令和5年第1回定例会
ステップ10 「当初予算案の審査」	各分科会	令和5年第1回定例会

(4) 基本目標の担当

基本目標 1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	産業建設委員会
基本目標 2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる	産業建設委員会 総務委員会
基本目標 3	“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む	社会文教委員会
基本目標 4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む	社会文教委員会
基本目標 5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	社会文教委員会
基本目標 6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	社会文教委員会
基本目標 7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	社会文教委員会
基本目標 8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	社会文教委員会
基本目標 9	20 地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める	総務委員会
基本目標 10	個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる	総務委員会
基本目標 11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	総務委員会
基本目標 12	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る	総務委員会 産業建設委員会
基本目標 13	リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する	産業建設委員会 リニア推進特別

(4) 基本目標の担当

基本目標 1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	産業建設委員会
基本目標 2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる	産業建設委員会 総務委員会
基本目標 3	“結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む	社会文教委員会
基本目標 4	豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む	社会文教委員会
基本目標 5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	社会文教委員会
基本目標 6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	社会文教委員会
基本目標 7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	社会文教委員会
基本目標 8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	社会文教委員会
基本目標 9	20 地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める	総務委員会
基本目標 10	個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる	総務委員会
基本目標 11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	総務委員会
基本目標 12	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る	総務委員会 産業建設委員会
基本目標 13	リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する	産業建設委員会 リニア推進特別

基本目標8：共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	
① 地域福祉課題検討会の開催による地域福祉活動の推進	① 地域福祉課題検討会の開催による地域福祉活動の推進
② 住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築	② 住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築
③ 複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築	③ 複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築
④ 障がい者の社会参加の推進	④ 障がい者の社会参加の推進
基本目標9：20地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める	
① 生き活きとした住民自治を育む	① 住民みんなで進める自治を育む
② 地域の担い手を確保し、活力を維持するための「20地区田舎へ還ろう戦略」の推進	② 地域の担い手を確保し、活力を維持するための「20地区田舎へ還ろう戦略」の推進
③ 中山間地域をもっと元気にする	③ 中山間地域をもっと元気にする
基本目標10：個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる	
① 地域づくりの活力を生み出すムツの市民活動の推進	① 多様性とムツの行動力でまちづくりを推進
② 個性が尊重され、安心して暮らせる地域づくり	② 多様性が尊重され、安心して暮らせる地域づくり
③ 国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり	③ 国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり
基本目標11：地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	
① ごみの3R（減量・再使用・再資源化）を地域ぐるみで推進	① 環境問題を知り、学び、実践に移す
② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換	② 家計や事業経営を助ける省エネ型への転換
③ エネルギーの域産域消による環境と経済の地域内好循環と防災力の強化	③ 地域産再生可能エネルギーの創出と活用
④ リニア駅周辺におけるモデルエリアの構築	④ ごみの3R（減量・再使用・再資源化）を地域ぐるみで推進
⑤ 生活をよりよく心豊かにする環境学習と実践の推進	
基本目標12：災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る	
① 災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める	① 災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める
② 災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施	② 災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施
③ 飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上	③ 飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上
④ 通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止	④ 通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止
⑤ 災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化	⑤ 災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化
基本目標13：リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する	
① リニア・三遠南信時代を見据えた良好な土地利用の推進	① リニア・三遠南信時代を見据えた良好な土地利用の推進
② リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かす広域交通拠点整備と広域道路ネットワークの強化	② リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かす広域交通拠点整備と広域道路ネットワークの強化
③ リニアの2次交通及び持続可能な地域公共交通の実現と、A1等の技術を活用したスマートモビリティの実装	③ リニアの2次交通及び持続可能な地域公共交通の実現と、A1等のを活用したスマートモビリティの実装技術
④ デジタル化、先端技術活用推進に向けた研究と実装	④ 市民サービスを向上するデジタル化の推進

2022(令和4)年度「議会による行政評価」の評価の視点について

2021年度 実績評価	<p>1 基本目標及び戦略計画の評価</p> <p>基本目標について、所管する分科会(連合審査を含む)において実施する。</p> <p>2021年度「基本目標評価シート」及び「年度戦略評価シートの説明を受けた後、以下の「評価の視点」をもって評価及び検証する。</p> <p>【評価の視点】</p> <p>未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性を、下から上へ仰視する視点で目標達成への貢献度・成果などを、視点を上から下へ、下から上へ循環させて評価を進める。</p> <p>2021年度の実績を踏まえ、2022年度の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況などを確認する。</p> <p>2021年度の取り組みを評価及び検証すると共に、進捗状況確指標、重要業績評価指標(KPI)における前年度の評価を行う。</p>
	<p>2 事務事業の評価</p> <p>基本目標・年度戦略の評価において課題があると思われる項目に関連する戦略的(政策的)事務事業を選定する。あわせて(必要に応じ)、例えば各常任委員会の所管事務調査に関わりの深い政策的事務事業等を選定する。</p> <p>【評価の視点】</p> <p>戦略的事務事業は、年度戦略(小戦略)を実現するために妥当か。また、実現するために見直しや改善点はあるか。戦略計画(年度戦略)への貢献度、達成度を向上させる視点から評価を進める。</p> <p>政策的事務事業は、各常任委員会の課題認識や、必要に応じ分野別計画における位置づけ等を確認しつつ論点抽出を行った上で、見直し、改善点等の評価を進める。</p> <p>政策的(戦略的)事務事業の評価にあたっては、基本目標達成への有効性、分野別計画推進などの観点から「継続」「改善」(予算反映を求めるもの・予算反映を求めないもの)「廃止」など、事業の今後の方向性をどう考えるかに視点を置く。</p>
	<p>3 分野別計画の評価</p> <p>常任委員会の所管事務調査に関わりの深い政策的事務事業を選定する際、分野別計画については選定を必須としないが、各常任委員会の所管事務調査に関わりの深い分野別計画については、極力調査対象とするよう努めるものとする。</p> <p>閉会中の所管事務調査として、分野別計画の調査等を進め、決算と予算を連動させるために、論点や争点の明確化など審査に深みをもたせるための準備を進める。</p> <p>【評価の視点】</p> <p>戦略的事務事業の評価をとおして、分野別計画の進捗状況等の評価する。</p>

- ① 評価にあたっては、各区分の「評価シート」に記載されている執行機関側の自己評価が妥当であるか、について確認しながら進める。
- ② 基本目標及び戦略計画（小戦略）の達成度を、進捗状況確認指標を中心に、重要業績評価指標（KPI）、参考資料も用いて評価を進める。
- ③ 基本目標及び戦略計画（小戦略）の評価及び検証のため、必要に応じて事務事業をステップ1（成果説明）において確認することが考えられるが、決算審査で行う事務事業の成果評価にならないよう留意する。
- ④ 事務事業は、戦略計画（小戦略）に繋がっている関係性を見ながら決算審査において評価を行うが、経常経費などの事務事業は一括して説明を受けることで、決算審査としての審査機能を保持する。

**「いいだ未来デザイン 2028」の
中期計画3年目へ向けて**

**～令和4年度「議会による行政評価」からの
評価及び提言書～**

令和 4 年 9 月 30 日

飯 田 市 議 会

令和4年度「議会による行政評価」からの評価及び提言書 構成

前書き

令和4年度「議会による行政評価」の目的及び基本方針
評価対象別の「評価の視点及びポイント」
評価の対象とした基本目標及び事務事業
事務事業評価結果の概要

「いいだ未来デザイン 2028」基本目標別目次

基本目標 1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる 関連事務事業	P 1～P 4 P 5～P 7
基本目標 2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる 関連事務事業	P 8～P 10 P 11～P 13
基本目標 5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる 関連事務事業	P 14～P 16 P 17～P 18
基本目標 7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす 関連事務事業	P 19～P 20 P 21～P 24
基本目標 8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる 関連事務事業	P 25～P 26 P 27
基本目標 11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進 関連事務事業	P 28～P 29 P 30～P 31
基本目標 12	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る 関連事務事業	P 32～P 33 P 34

令和4年度の「議会による行政評価」は、『令和4年度 議会による行政評価実施要項』に基づき、「執行機関の活動を監視することによって、適正な行政運営に努める」、「議会として議決事件とした基本構想基本計画の進行管理に関与することで、議会としての責任を果たす」ことを目的に、「いいだ未来デザイン2028」の戦略計画を中心に基本目標ごとに評価及び検証を行った。

今年度は「いいだ未来デザイン2028」の中期計画、中間期審査にあたるため、戦略計画、分野別計画を、重複しないよう4、5年度の2年の間に評価することとし、各分科会において、令和3年度の評価報告等を受けた後、本年度の評価対象とする基本目標、分野別計画を選定した。

また、事務事業評価については、各常任委員会の所管事務調査に関わりの深い事務事業、基本目標・年度戦略の評価において課題があると思われる項目に関連する事務事業等を選定し、決算審査とは別に評価を行うこととした。これは、事務事業が予算決算に直結しており「議会の政策サイクルを回す」という視点「方向性の妥当性など上から下へ俯瞰する視点」及び「目標達成への貢献度や効果など下から上へ仰視する視点」を重視したいとの考えに基づくものである。

なお、評価については、以下の視点で行い、基本目標別にまとめた。

評価対象	評価の視点及びポイント
1 基本目標	<p>基本目標について、所管する分科会（連合審査を含む）において実施。令和3年度「基本目標評価シート」及び「年度戦略評価シート」の説明を受けた後、以下の「評価の視点」をもって評価及び検証する。</p> <p>【評価の視点】</p> <p>(1) 未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性を、下から上へ仰視する視点で目標達成への貢献度・成果などを、視点を上から下へ、下から上へ循環させて評価を進める。</p> <p>(2) 3年度の実績を踏まえ、4年度の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況などを確認する。</p> <p>(3) 3年度の取り組みを評価及び検証すると共に、進捗状況確指標、重要業績評価指標(KPI)における前年度の評価を行う。</p>
2 事務事業	<p>基本目標・年度戦略の評価において課題があると思われる項目に関連する戦略的（政策的）事務事業を選定する。あわせて必要に応じ、例えば各常任委員会の所管事務調査に関わりの深い政策的事務事業等を選定する。</p> <p>【評価の視点】</p> <p>(1) 戦略的事務事業は、年度戦略（小戦略）を実現するために妥当か。また、実現するために見直しや改善点はあるか。戦略計画（年度戦略）への貢献度、達成度を向上させる視点から評価を進める。</p> <p>(2) 政策的事務事業は、各常任委員会の課題認識や、必要に応じ分野別計画における位置づけ等を確認しつつ論点抽出を行った上で、見直し、改善点等の評価を進める。</p> <p>(3) 政策的（戦略的）事務事業の評価にあたっては、基本目標達成への有効性、分野別計画推進などの観点から「継続」、「改善」（予算反映を求めるもの・予算反映を求めないもの）、「抜本的な見直し」（廃止を含む）など、事業の今後の方向性をどう考えるかに視点を置く。</p>

3 分野別計画	<p>常任委員会の所管事務調査に関わりの深い政策的事務事業を選定する際、分野別計画については選定を必須としないが、各常任委員会の所管事務調査に関わりの深い分野別計画については、極力調査対象とするよう努めるものとする。</p> <p>閉会中の所管事務調査として、分野別計画の調査等を進め、決算と予算を連動させるために、論点や争点の明確化など審査に深みをもたせるための準備を進める。</p> <p>【評価の視点】 戦略的事務事業の評価をとおして、分野別計画の進捗状況等の評価する。</p>
---------	--

■評価の対象とした基本目標及び事務事業

評価の対象とした基本目標	7目標
基本目標 1	<p>稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる 【産業建設分科会】</p>
基本目標 2	<p>飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる 【産業建設・総務分科会】</p>
基本目標 5	<p>文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる 【社会文教分科会】</p>
基本目標 7	<p>「市民総健康」と「生涯現役」をめざす 【社会文教分科会】</p>
基本目標 8	<p>共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる 【社会文教分科会】</p>
基本目標 11	<p>地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進 【総務分科会】</p>
基本目標 12	<p>災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る 【総務・産業建設分科会】</p>

評価の対象とした事務事業		28事業	
事業NO.	事務事業名		分科会
(基本目標1 関連)			
156	担い手確保・育成支援事業		【産業建設分科会】
160	元気な農村づくり推進事業		【産業建設分科会】
173	森林づくり推進事業		【産業建設分科会】
192	観光誘客推進事業		【産業建設分科会】
197	遠山観光戦略プロジェクト事業		【産業建設分科会】
204	企業誘致・立地促進事業		【産業建設分科会】
(基本目標2 関連)			
21	移住定住推進事業		【産業建設・総務分科会】
150	雇用対策事業		【産業建設分科会】
151	技能者育成支援事業		【産業建設分科会】
204	企業誘致・立地促進事業 (再掲)		【産業建設分科会】
208	中心市街地活性化推進事業		【産業建設分科会】
(基本目標5 関連)			
253	学校教育振興事業		【社会文教分科会】
295	文化会館等管理運営事業		【社会文教分科会】
302	市民スポーツ推進事業		【社会文教分科会】
303	競技力向上支援事業		【社会文教分科会】
(基本目標7 関連)			
122	地域外来・検査センター事業		【社会文教分科会】
131	市民の健康づくり事業		【社会文教分科会】
133	健康診査事業		【社会文教分科会】
134	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業		【社会文教分科会】
312	国民健康保険特定健康診査・特定保健指導事業		【社会文教分科会】
316	介護予防・生活支援サービス事業		【社会文教分科会】
317	高齢者健康づくり事業		【社会文教分科会】
(基本目標8 関連)			
93	重層的支援体制整備事業		【社会文教分科会】
(基本目標11 関連)			
141	自然環境保全推進事業		【総務分科会】
142	環境教育推進事業		【総務分科会】
143	地域エネルギー普及事業		【総務分科会】
144	省エネルギー推進事業		【総務分科会】
(基本目標12 関連)			
243	防災対策推進事業		【総務分科会】

事務事業評価結果の概要				
対象事業数	継続	改善 予算への反映有	改善 予算への反映無	抜本的な見直し
27	11	3	11	2

基本目標 1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

1 基本目標の2021年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	<p>基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は、「妥当」とであると評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ収束。 ・コロナ禍で脚光を浴びたテレワーク、サテライトオフィスが、飯伊地域においてどの様に進んでいくのか見極めが必要である。 ・女性を始めとする人材確保のため、ワーク・ライフ・バランス、働き方改革を具体的にどのように進めていくのか示す必要がある。
評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか	<p>取り組み内容は、「妥当」とであると評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても、できる取り組みをしていくことが必要である。 ・企業・オフィス誘致の取り組み強化とスピードアップが必要である。 ・地域内経済循環の推進に向けた、より具体的な取り組みが求められる。

(2) 戦略計画

年度戦略(小戦略)	1-①	地域産業の育成による高付加価値化
評価のポイント	基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>基本目標の達成に向け、概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化について、生産者ニーズや市場ニーズを把握し積極的に取り組まれない。 ・6次産業化で付加価値を高めるには、地域資源の活用によるデザイン力の向上が課題である。 ・ISO/IEC17025（試験所認定）の認定取得に伴う更なる信頼性の向上と試験要員の強化及び持続可能な体制強化に努められたい。 	

年度戦略(小戦略)	1-②	地域内経済循環の推進
評価のポイント	基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>基本目標の達成に向け、概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「南信州地産地消協議会」を中心とした、効果的な取り組みの推進にあたり、事業者と市民（消費者マインド）へのアプローチに引き続き取り組まれない。 ・「まちの八百屋システム」の今後の成果に期待したい。 	

年度戦略(小戦略)	1-③	事業継続と新たなビジネスモデルへの取り組み支援
評価のポイント	基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>基本目標の達成に向け、概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継は、今後益々大きな課題になることから、しっかりと寄り添っていかれない。 ・事業承継に対する事業者の意識調査を詳細に分析し、対策を検討されたい。 ・事業承継に対する、事業者への専門的支援体制の強化を図られたい。 ・事業承継問題と起業家とをつなげる取り組みを展開されたい。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・農村起業家育成スクールとの情報共有・協業は相乗効果を期待できることから、連携して取り組まれない。 ・分野間の情報を共有し、引き続き分野間連携を図られたい。
--	---

年度戦略 (小戦略)	1-④	地域産業を支える担い手の育成・確保と起業家の育成
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>基本目標の達成に向け、概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エス・バード（信州大学航空機システム共同研究講座）で学び、学位を取得した若者が飯田下伊那との繋がりが保てると良い。 ・「ファブスタ★」では、今後のものづくりに活かせる学習ができることから、学校への売り込みなど参加者拡大を図り、大いに活用されたい。 ・長寿命化の時代に入り、特に建築・土木関係の技術・技能者の確保・育成が急務であることから、雇用対策事業のつなぐ事業において当該事業者への集中的アプローチの実施や、技能者育成支援事業を戦略計画に紐づけし拡充する等、実効性のある施策を早急に講じられたい。 ・エスバード関連事業（共同研究講座含む）には多くの財源確保が必要であることから、将来的に安定した資金調達が図られるための仕組み作りを研究されたい。

年度戦略 (小戦略)	1-⑤	地域が支える農林業の推進
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>基本目標の達成に向け、概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業従事者の高齢化への抜本的な対策に引き続き取り組まれない。 ・森林所有者の自らが、自らの山を管理することが基本となることから、管理や自伐材の活用を促す取り組みを検討されたい。 ・林業の今後の方向性について、具体的な取り組みを早期に検討されたい。 ・特産の市田柿は、生産者の品質維持向上の取り組み、国内消費、新商品開発の検討が重要であることから、引き続きしっかり取り組まれない。 ・農業者向けの各種補助事業について、今年度作成したガイドを使い、兼業農家や農機具販売店（間接的に農業に関わる事業者等）にまで情報提供を行う等、実効性のある活用促進を図られたい。 ・農機具・施設のあげます情報（農業振興センター事業）は更なる活用が期待されるが、現在のサイトは検索しにくいことから利用度向上は期待できないため、飯田市地域情報アプリに掲載する等アクセスしやすく改善し、認知度向上や利便性向上に取り組まれない。また、今後の展開として飯田市のみならず周辺町村の情報も掲載・マッチングできるよう広域連合での展開を視野に進められたい。

年度戦略 (小戦略)	1-⑥	経済効果を生む観光産業の推進
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>基本目標の達成に向け、概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田に住んでいる人が来訪者に対して胸を張って「飯田にはこんな見どころがある」と言えるようになるため、また、リニア開業を見据え、リニア駅から南信州の魅力あるスポットへいざなうための周遊観光プランとして「南信州ふるさと再発見の旅（マイクロツーリズム）」の企画の幅を広げていくこと（ストックづくり）が更に求められる。 ・飯田の魅力を発信する商品開発や、「旅の目的地」につながるプロモーションを南信州観光公社と一体となって取り組まれない。また、効果の検証（持続性含め）は飯田市がしっかりとチェックされたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・三遠南信自動車道全通やコロナ収束後を見据え、天龍峡・遠山郷の地域振興にむけた新たな動きを引き続き支援されたい。
--	--

年度戦略 (小戦略)	1-⑦	働きやすい環境づくりの推進
評価のポイント	基本目標との 関係性 から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>基本目標の達成に向け、取り組み内容は理解するが、成果の評価はしづらい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田市としてできることを一つひとつ実施されたい。 ・「イイダカイシャナビ」の YouTube 動画の視聴回数がまだまだ少ないことから、視聴してもらうための仕掛けを検討する必要がある。 ・できあがった枠組みを、今後しっかりと取り組まれたい。 	

年度戦略 (小戦略)	1-⑧	企業誘致、オフィス誘致の推進
評価のポイント	基本目標との 関係性 から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>基本目標の達成に向け、概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致とノウハウが異なるサテライトオフィス誘致に、効果的なPRを行うなど全力をあげて取り組まれたい。 ・産業団地の整備については、戦略的・政策的な観点から好適地（三遠南信自動車道沿線を始め企業・飯田市双方にとって有益性の高い候補地）を選定し、リニア発生土の活用も考慮しながら、よりスピードを上げて進められたい。 ・コロナ禍においても、企業誘致、サテライトオフィス誘致は足を運んでPRをしっかりと取り組まれたい。 	

(3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映されており、「妥当」とすると評価する。 ・小戦略を8から7とし、評価指標も26から24としている。 ・“稼ぐ”の打ち出しに象徴されるように、より地域経済性を意識した具体的な計画となっている。 ・コロナ禍が続き、取組と実績が比例しない状況が続くが、概ね今後に期待が持てる内容となっている。 ・農産物需要の低下、製造業の生産品の変動、観光業の激変などを想定した状況把握はしている。 ・小戦略①に、「省力化・生産性を高めるために、IoT、AI ロボット化に取り組む事業者を支援します」を位置付けたことは評価する。

(4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として、「概ね妥当」とすると評価する。 ・マイクロリズムによる経済効果という観点での指標を検討されたい。

(5) 分野別計画

▼いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2021（令和3）年度】分野別計画一覧

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	

事業No.	156	事務事業名	担い手確保・育成支援事業
基本目標	1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	
小戦略	④ ⑤	地域産業を支える担い手の育成・確保と起業家の育成 地域が支える農林業の推進	
分野別計画	地域経済活性化プログラム 飯田農業振興ビジョン		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

年度戦略（小戦略）を実現するために概ね妥当と判断する。

- ・ 農業者向けの各種補助事業について、特に兼業農家への情報提供不足・理解不足により十分に活用されていない事例が見受けられる。今年度作成したガイドを使い、兼業農家や農機具販売店（間接的に農業に関わる事業者等）にまで情報提供を行う等、実効性のある活用促進を図りたい。
- ・ 「地域おこし協力隊制度」を更なる移住就農希望者の確保に向けどのように活かすかが、今後の課題と考える。

次年度以降に対する判断

継 続

事業No.	160	事務事業名	元気な農村づくり推進事業
基本目標	1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	
小戦略	⑤	地域が支える農林業の推進	
分野別計画	地域経済活性化プログラム 飯田農業振興ビジョン		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

年度戦略（小戦略）を実現するために概ね妥当と判断する。

- ・ 「農ある暮らし」が飯田市の魅力になり得ることから、強みにまで磨き上げるよう取り組まれない。
- ・ 農ある暮らし普及のために、耕作放棄地や遊休農地の利活用対策も含め、市民農園のあり方（農園の場所、管理組合、土地の提供者等）について検討を進められたい。（R3 事務事業 No159 と連携した取り組み）
- ・ 農に触れる機会として農業者と非農家とのイベント等を検討されたい。

次年度以降に対する判断

改 善（予算反映無）

- ・ 挙げられた課題について、改善を図られたい。

事業No.	173	事務事業名	森林づくり推進事業
基本目標	1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	
小戦略	⑤	地域が支える農林業の推進	
分野別計画	飯田市森林整備計画 地域経済活性化プログラム 21' いいだ環境プラン		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

年度戦略（小戦略）を実現するために概ね妥当と判断する。
森林整備を行った民有林所有者に対しての補助事業や、未利用材の活用に着目した点については一定の評価ができる。

- ・市民の関心を高める取り組みとして、森林の持つ経済価値が再発見できる啓発活動（パンフレットの配布）等を更に強化されたい。
- ・地域おこし協力隊の活用による担い手確保をどのようにしていくかが今後の課題である。

次年度以降に対する判断

継 続	・飯田市は森林面積も多いことから、継続した取り組みが必要である。
-----	----------------------------------

事業No.	192	事務事業名	観光誘客推進事業
基本目標	1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	
小戦略	⑥	経済効果を生む観光産業の推進	
分野別計画	飯田市観光振興ビジョン 地域経済活性化プログラム		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

年度戦略（小戦略）を実現するために概ね妥当と判断する。

- ・民間企業が進めること、DMOが進めることを明確にし、その上で南信州広域連合の一員である飯田市として行政の役割を果たすためにも、観光振興ビジョンの改定をされたい。
- ・コロナ禍により外への営業や外貨を稼ぐことが難しい状況が続いている。また、今後もウィズコロナの状況が続くことが予想されることから、マイクロツーリズムを強化し地域内経済循環を高められたい。
- ・(株) 南信州観光公社や首都圏のエージェントの補助事業の効果を検証されたい。
- ・地域別観光事業の動画や飯田市全体の観光用動画の検証をして、より効果的な動画活用について取り組まれたい。
- ・コロナ終息後を見据え、「旅の目的地」になるプロモーションが必要と考えることから、今後の観光誘客や情報発信について検討されたい。

次年度以降に対する判断

改 善（予算反映無）	・挙げられた課題について、改善を図られたい。
------------	------------------------

事業No.	197	事務事業名	遠山郷観光戦略プロジェクト事業
基本目標	1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	
小戦略	⑥	経済効果を生む観光産業の推進	
分野別計画	飯田市観光振興ビジョン 地域経済活性化プログラム		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性	
<p>年度戦略（小戦略）を実現するために概ね妥当と判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かぐらの湯」の方向性を早急に示されたい。 ・かぐらの湯以外の公共施設管理（R4 事務事業 No191、192）について、公共施設マネジメントと照らし合わせ、引き続き地元との協議を通じて、選択と集中を図られたい。 ・遠山郷観光振興ビジョン・戦略計画を軌道に乗せるとともに、スピード感をもって取り組まれない 	
次年度以降に対する判断	
改 善（予算反映無）	・挙げられた課題について、改善を図られたい。

事業No.	204	事務事業名	企業誘致・立地促進事業
基本目標	1 2	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる	
小戦略	⑧ ③	企業誘致、オフィス誘致の推進 「結い」によるUターン・Iターン移住定住の推進	
分野別計画	地域経済活性化プログラム 長野県南信州地域における基本計画(地域未来投資促進法)		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性	
<p>年度戦略（小戦略）を実現するために概ね妥当と判断する。</p> <p>コロナの影響を強く受け企業への訪問は激減したが、WEB による折衝を重点に誘致の取り組みを行ったことは一定の評価はできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア発生土の活用も考慮し、よりスピード感と危機感をもって取り組まれない。 ・コロナ禍での企業誘致に向けた、飯田市のプロモーションビデオを検討されたい。 ・デジタル人材の必要性、女性の社会進出、働き方改革の視点を持ったサテライトオフィス誘致を検討されたい。 ・コロナ禍でのサテライトオフィス需要は一定程度収まりつつあるのではないか。サードプレイスオフィス・コワーキングスペース等の考えを取り入れることも検討されたい。 ・企業誘致やサテライトオフィス誘致の効果を大きくするためにも、コロナ禍と言えども直接企業訪問したりお試し利用の実績を増やすことを検討されたい。 	
次年度以降に対する判断	
改 善（予算反映無）	・挙げられた課題について、改善を図られたい。

基本目標	2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる
-------------	----------	--

1 基本目標の 2021 年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	<p>基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は、「概ね妥当」とであると評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナの状況が、今ひとつ見通せない状況にある。
評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか	<p>取り組み内容は、「概ね妥当」とであると評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標2は飯田市の総合力が求められると共に、地域全体の取り組みにしていく必要がある。 ・西条市が取り組んできたように、ブランド力向上の前に、「全ての飯田の強みを洗い出したか」「全ての玉をすべて打ったか」を再度検討してみる必要があるのではないかな。 ・一つひとつの活動はどれも評価するが、それぞれの活動が改善傾向に至らないことの分析を、関係者と一緒に総括する仕組みが無いのではないかな。

(2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	2-①	飯田のブランド力を高めプロモーション活動を展開
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>基本目標の達成に向け、概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育て環境」と「いいだ型自然保育」は飯田ブランド（強み）の一つであり、子育て世代に向けたプロモーション活動の中でぜひ取り上げられたい。 ・コロナ禍でもできる取り組みとして、飯田の概要を理解してもらうための飯田市全般を紹介できる動画を作成し、情報発信に活用されたい。 ・西条市が取り組んでいる視点である「強みをどうやって、誰に伝えるか」を、飯田市として明確になっているか検証されたい。 ・「VisitIIDA.com」のサイトは、少しのコメントと写真しかないため、動画を追加するなど普段から関心を寄せてもらえるように内容の更新を図られたい。また、お練りまつりなど時期のあるものは写真の更新をこまめに行われたい。(8/4 現在「お練りまつり 2016 ふりかえり」として掲載されている) ・「焼き肉のまち」をブランドとして取り組むにあたり、飯田以外の人向けに飯田焼き肉の特徴、昼・夜それぞれの開店情報などを紹介できる工夫が必要である。 ・焼き肉イベントなどを開催するための大規模な屋根付き広場も必要ではないかな。 	

年度戦略 (小戦略)	2-②	中心市街地の賑わいのある街づくり
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>基本目標の達成に向け、新しい事業の形の提案や日常的なまちの賑わいづくりへの可能性を見出す事業展開はしたが、日常的な賑わいの創出までの役割は果たしていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中心市街地の賑わい」「日常的なまちの賑わい」を創出するためには、外から丘の上に来てもらう視点も大切だが、持続可能な中心市街地に向けて 	

	<p>『歳を取れば丘の上（まち）に住みたい』と言われるまちづくり」「車に依存しない歩いて事足りるまちづくり」という居住に再度視点を向けることが必要ではないか。そのためにも居住者の実態（実数、高齢化率、ニーズ等）はどのようなものか調査されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の賑わいのある街づくりにむけて、新たな起点となる丘の上結いスクエアをいかにして若者世代の核として活かしていくかが今後の課題と考える。 ・「まちなか回遊」による賑わいのある街づくりを進めるために、世代別に受け入れられる「ストーリー性」の確立と、昼と夜の誘客層の違いに視点を当てた回遊のあり方を検討されたい。
--	---

年度戦略 (小戦略)	2-③	「結い」によるUターン・Iターン移住定住の推進
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>基本目標の達成に向け、概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者のニーズは住居、周囲との人間関係、子育て・教育環境、福利厚生、雇用、老後、農地の有無を始めとして幅広いことから、市民・地域・企業・行政が一体となった「オール飯田市」で推進していく取り組みに進化させ、しっかりと寄り添った丁寧な対応に引き続き務められたい。 ・進捗状況確認指標「⑤新規大学等卒業者の地域内就職率」が25%に達しない点と、飯田高校自治会（生徒会）が実施したアンケート結果が、進学後の帰郷希望は28%、他地域への移住希望が33%となり、指標を裏付ける結果となった。アンケートの集計内容を入力し、帰郷希望が向上しない要因を様々な角度から分析し対応していくことが必要である。 	

(3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映されており、「概ね妥当」とであると評価する。 ・中学生の頃から地元企業を知る機会を多く設けるためにも、つなぐ事業とキャリア教育の連携を検討されたい。

(4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として、「概ね妥当」とであると評価する。 ・中心市街地の「日常的な賑わい」を測る指標を検討されたい。（例：丘の上結いスクエア利用者数、プッチー利用者数等） ・飯田市への人の流れをつくる目的に合致したフォロワー（南信州圏域外、特に移住希望者となりうる県外在住者）を分析するための媒体として、何がふさわしいのか検討されたい。 ・進捗状況確認指標の「④新規高卒者の地域内就職率（%）」「⑤新規大学等卒業者の地域内就職率（%）」は毎年母数が変わることから、実数（分子：就職者数・地域内就職者数、分母：対象者数）を併記するとより分かりやすい。

(5) 分野別計画

▼いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2021（令和3）年度】分野別計画一覧

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	

事業No.	21	事務事業名	移住定住推進事業
基本目標	2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市へ人の流れをつくる	
小戦略	③	「結い」によるUターン・Iターン移住定住の推進	
分野別計画	飯田市版総合戦略		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

年度戦略（小戦略）を実現するために概ね妥当と判断する。

- ・飯田市役所の総力を結集することはもちろんのこと、今後は飯田市全体（市民、地域、企業、行政）“地域ぐるみ”で移住定住を推進していく取り組みに拡大していかれたい。
- ・関係人口・交流人口の取り組みを更に進めるうえで、職員の増加を検討されたい。
- ・地域ぐるみで推進していくための機運醸成を図られたい。（例：キャッチコピーをあしらったポロシャツを制作し、職員も市民も（もちろん議員も）着用）
- ・IIDA ブランド推進事業（R4 事務事業 No. 36）と協働し、飯田市全体を紹介する動画を制作し、移住定住推進に活用されたい。
- ・移住相談の協力者である移住コンシェルジュの更なる増員を進め、よりきめ細やかな相談対応を構築されたい。
- ・コロナ禍ではあるが、オンライン対応と、移住希望者に寄り添う取り組みを今後も続けられたい。
- ・一人、移住することによりどの程度の付加価値メリット（消費額・納税額・その他）があるのかを算出し、この活動に対するインセンティブにつながるよう研究されたい。

次年度以降に対する判断

改善（予算反映有）

- ・挙げられた課題について、改善を図られたい。
- ・必要であるなら予算増も見据えた改善を検討されたい。

事業No.	150	事務事業名	雇用対策事業
基本目標	2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市へ人の流れをつくる	
小戦略	③	「結い」によるUターン・Iターン移住定住の推進	
分野別計画	地域経済活性化プログラム		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

年度戦略（小戦略）を実現するために概ね妥当と判断する。

- ・慢性的な人材不足の解消や地元企業の雇用対策に軸足を置くのであれば、基本目標の主体を「基本目標2」から「基本目標1」へ見直しを検討されたい。
- ・地域産業説明会開催についてはより多くの高校が参加できるよう調整されたい。
- ・現実に即したウェブサイトの充実や動画の活用、企業情報の発信に具体的な計画を立て取り組まれたい。

次年度以降に対する判断

改善（予算反映無）

- ・挙げられた課題について、改善を図られたい。

事業No.	151	事務事業名	技能者育成支援事業
基本目標	2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市へ人の流れをつくる	
小戦略			
分野別計画	地域経済活性化プログラム		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

- ・建築関係については、コロナ禍による在宅時間増や長寿命化が求められる時代に入り、新築よりも修繕や増改築といったリフォーム需要が高まっている。リフォームは、職人による熟練の技術が必要だが、職人の育成・確保が追いついておらず、慢性的な人材不足により、需要に応えられない状態となっている。需要はあるものの後継者がおらず、廃業を考える工務店もあると聞く。よって、本事務事業については以下の点に取り組まれたい。
- ・小戦略に紐づけし、より危機感をもって強力に推進されたい
- ・飯田技術専門学校への入学、就学に係る費用への奨学金制度を創設（飯伊地域へ就業することで返還一部免除）し、経済的負担の軽減を図る支援について研究されたい。
- ・関係機関と協力し、大工の魅力向上につながる新たな取り組みを早急に実施されたい。（例：①“大工の今”がわかる動画を制作し、つなぐ事業等で積極的に活用する。②「職業（仕事）を知ってもらう」取り組み）

次年度以降に対する判断

改善（予算反映無）

- ・挙げられた課題について、改善を図られたい。

事業No.	208	事務事業名	中心市街地活性化推進事業
基本目標	2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市へ人の流れをつくる	
小戦略	②	中心市街地の賑わいのある街づくり	
分野別計画	第3期飯田市中心市街地活性化基本計画		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性	
<p>年度戦略（小戦略）を実現するために概ね妥当と判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の賑わいを生み出すためには、イベントだけでは無理があることから、元々もっていた「居住」というコンセプトに改めて視点を向けられたい。 ・ 高松市丸亀町商店街のように、民間主導で関係者自らがビジョン作成する事が必要である。 ①妥当である。 	
次年度以降に対する判断	
改善（予算反映無）	・ 挙げられた課題について、改善を図られたい。

基本目標 5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる

1 基本目標の 2021 年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	<p>概ね妥当。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒数減少に伴う部活動の存続や部活動の地域移行といった今後の部活動のあり方が課題となっている。 基本目標の実現に、世代間交流の視点を持って積極的に取り組まれない。
評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか	<p>コロナ禍により活動が制限されたことで、取り組みは認めるが成果を上げられなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度戦略 5-⑤「競技スポーツ人口の拡大と競技力の向上」は、スポーツ協会への支援が主であり、活動が見えない。行政としては素地を作ることが必要で、基本目標の戦略に位置付けることが相応しいか、改めて議論する必要がある。 戦略として「トップアスリートを育てることができる取組を目指す」とあるが、トップアスリートを前面に出すよりもむしろ、スポーツに取り組む子どもを育てる環境づくりを強調すべき。またスポーツに限らず、文化についても同様に人材育成の考えを盛り込むべき。

(2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	5-①	「人形劇のまちづくり」の推進
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人形劇センター、AVIAMA、人形浄瑠璃団体など通年で活動し観劇、体験等の機会は提供されているが、まだ人形劇のまちづくり＝フェスタの印象を持たれることがある。通年活動の周知に努められたい。 コロナ禍において、「みる、演じる、ささえる」の観点からもワッペン(参加証)の意義を定期的に発信していく必要がある。

年度戦略 (小戦略)	5-②	文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍にあっても出来ることを着実に実施されたい。 “リアル” “本物” に触れることができないウィズコロナでの文化芸術活動のあり方や新しい可能性を検討されたい。

年度戦略 (小戦略)	5-③	新たな文化芸術活動の拠点づくり
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 構想・計画の進捗状況を逐一市民に公開し、合意を形成していくことが必要である。 市民の声が、市民検討委員会や市民ワークショップに確実に反映される仕組みや運営が求められる。

年度戦略 (小戦略)	5-④	市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>コロナ禍での工夫はあったが、大きな成果はみられない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーショントレーニングの効果検証を早急にされたい。 ・ウォーキングには健康づくりの観点があり、他部署と連携して実施されたい。 ・今までに取り組んできたニュースポーツで囲碁ボール、ワンバウンドフラバールバレー等各地公民館に普及してきている。今後、ウォーキングやボッチャ等の普及と並び運動習慣の定着のためにそれぞれの更なる充実に努められたい。 ・「市民のスポーツ機会を増やす」視点で、民間スポーツクラブとの役割の分担、あるいは官民連携を模索されたい。

年度戦略 (小戦略)	5-⑤	競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>コロナ禍でできることを工夫し実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡大しようとする競技スポーツ人口の対象が見えない。 ・基礎世論調査結果等の数値の比較だけでなく、都会と地方の指導環境の比較、体育施設の環境比較など、飯田市の現状分析が必要である。 ・成果を上げるには、小中学生への取り組みが必要ではないか。5-④、5-⑥に注力すべきではないか。 ・競技スポーツは専門性が求められる。行政施策として小戦略に位置付ける必要があるか。

年度戦略 (小戦略)	5-⑥	中学生期の多様なスポーツ環境の充実
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>一定の役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全市型競技別スポーツスクールは中学生期の総合的な取り組みとして利用しやすさの充実に図られたい。送迎や参加費の負担があるとの声がある。また今後、部活動の地域移行を見据えたあり方の検討が必要になる。 ・K P I の目標指標が種目数であり、本来目的としている部活動時間の短縮の方向性が見えない。

年度戦略 (小戦略)	5-⑦	スポーツ施設の整備、サービス向上
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設改善に対する各競技団体や地域からの要望について、進捗状況を示していく必要がある。 ・計画的な改修を進めるとともに、財源確保について様々な方策を研究していく必要がある。 ・川路多目的広場Aコート芝生の植栽が具体化した中で、芝生化の整備費や維持管理費の検証を行う必要がある。

(3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	概ね反映している。

(4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (K P I)、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においては、令和6年の目標との対比させた評価は意味をなさない。翌年度の目標設定をするなど、評価できる状況を講じられたい。 ・中学生期の部活動時間の短縮が本来の目的であるならば、K P Iには、現在の種目数に加え、部活動時間の目標値が必要。

(5) 分野別計画

▼いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2021（令和3）年度】分野別計画一覧

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	

事業No.	253	事務事業名	学校教育振興事業
基本目標	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	
小戦略	⑥	中学生期の多様なスポーツ環境の充実	
分野別計画		飯田市教育振興基本計画	

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

小戦略としては妥当ではない。

- この事務事業の内容では、本小戦略には全く貢献しない。何故この事務事業が、本小戦略に基づく事務事業に記載されているのか不明。基本目標3に連なる事務事業ではないか。

小中学校の体育系備品の点検等を検討いただきたい。

- 今後の方向性として、中学生期の部活動のあり方については、部活動の時間平均665時間を減らしていくことが、当時示された目的だが最終的な目標値は示されていない。一方で、現在行っている全市型競技別スポーツスクールの充実を主たる目的とするのか、政策としての目的を学校、生徒・児童、保護者、地域全体で共有していくことが大切。

次年度以降に対する判断

抜本的な見直し	<p>事業の内容は妥当だが、体系的な見直しが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品の購入等をはじめとする事業内容は妥当ではあるが、行政評価をする上で基本目標との立て付けに疑義が生じた。基本目標3との関連付けが主体であり、基本目標5との関わりが適正かどうかは検討されたい。 この事務事業253のように基本目標が複数に及ぶ事務事業は基本目標5と共に、3(主)との併記をお願いしたい。
---------	--

事業No.	295	事務事業名	文化会館等管理運営事業
基本目標	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	
小戦略	③	新たな文化芸術活動の拠点づくり	
分野別計画		飯田市教育振興基本計画	

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

概ね妥当。

- 無作為抽出のアンケート実施、検討委員会の準備を進めるなど市民参加の仕組みを整えてきた点は評価できる。

飯田市全体の文化・芸術のあり方を包括した上で新文化会館の基本理念を検討されたい。

- 「バリアフリー」でなく「ユニバーサルデザイン」を意識して進められたい。
- 40年後50年後の技術進歩、インフラ等の社会変化にも対応した新文化会館とするため、必要に応じて専門家の助言を求め、整備検討委員会へ伝えられたい。

次年度以降に対する判断

継続	
----	--

事業No.	302	事務事業名	市民スポーツ推進事業
基本目標	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	
小戦略	④	市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催	
分野別計画	飯田市教育振興基本計画、飯田市スポーツ推進計画		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

妥当である。

- ・ニュースポーツなど幅広い年齢層に展開していることは評価する。

コーディネーショントレーニングは、これから更に必要性が増すと思われるが、これを広められる人材の確保が求められる。

次年度以降に対する判断

継続

事業No.	303	事務事業名	競技力向上支援事業
基本目標	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	
小戦略	⑤ ⑥	競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上 中学生期の多様なスポーツ環境の充実	
分野別計画	飯田市教育振興基本計画、飯田市スポーツ推進計画		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

妥当ではない。

- ・競技力の向上やトップアスリートの育成には、人的・金銭的等で相当の投資が必要となる。中途半端な支援を続けながら、この小戦略と事務事業を存続させても、基本目標の達成、更には目指すまちの姿に近づけるのは難しいのではないか。
- ・目的の「地元出身選手が全国大会等で活躍する」は大上段に聞こえ、事業内容と目的が現状に即しているか、整合性が取れるよう見直しが必要。
- ・競技スポーツ人口の拡大の目標に対し、事業対象が競技スポーツを実施している市民では成果が上がると思えない。

次年度以降に対する判断

抜本的な見直し

事業目的の一部に疑義があり、基本目標や目指すまちの姿の実現に役割を果たしているとは言い難い。表記を下記のように再検討することなどを提案したい。

事業名(案) 競技大会と競技者支援事業

事業目的(案) 競技スポーツへの関心と競技人口の拡大

基本目標 7 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす

1 基本目標の2021年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	<p>概ね妥当。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民自ら健康づくりに関心を持ち行動することが大切である。フレイルの周知など市民の意識づくりが必要である。 コロナ対応が続くなか、職員を適正に配置し、スピード感をもって取り組む必要がある。
評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか	<p>概ね評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔衛生が健康や要介護予防に及ぼす影響は大きい。全世代が実践できる取り組みを検討されたい。(オーラルフレイル予防) ポイント制度やフレイル予防などの今後の展開を考えた場合、7-②、7-③、7-④は関連してくる。保健課、長寿支援課の部内をはじめ他部とも連携した取り組みの構築が必要である。

(2) 戦略計画

年度戦略(小戦略)	7-①	新型コロナウイルス感染症対策の推進
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ罹患後の後遺症については情報提供が必要である。

年度戦略(小戦略)	7-②	市民、地域とともに進める健康づくり(働き盛り世代からの生活習慣病予防)
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>概ね役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年間行った消防団健康教室のデータ、アンケートを分析し、その結果を現役世代の健康啓発につなげられたい。 ポイント制度は、効果の判断が明確にわかる指標の設定など、総合的なスキームを構築した上で取り組むこととされたい。 口腔衛生と口臭とは相関があることから「お口の臭い」というようなフレーズで現役世代が関心を持ち、健康づくりの習慣化に結び付けるような試みを検討されたい。

年度戦略(小戦略)	7-③	後期高齢者を対象とした保健指導(健康づくり)
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>役割を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> “フレイル”の概念が市民に浸透していない。高齢者にも意味が伝わる工夫を行い、早急に理解を広げられたい。 KDBシステムによる分析結果から高血圧予防の重要性が導き出された。このことを広く周知し、疾患の重症化予防につながる事業展開が必要である。

年度戦略 (小戦略)	7-④	介護予防（重度化防止）の推進
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	概ね役割を果たしている。 ・「通いの場」について、持続性をもって進めていく必要がある。	

(3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	概ね反映している。 ・ポイント制度については、成果指標をしっかりと見据え、構築されたい。 ・市民の健康づくりは「楽しみながら自己管理」できることが大事であり、その仕組みの研究が必要である。

(4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	・前年度にあった「フレイルに陥っている高齢者の割合」を引き続き把握していく必要がある。 ・「介護人材の確保」については分野別計画で進行管理を行っているとのことだが、喫緊の課題として捉えていくべき。 ・体重管理、血圧管理の課題に対しては食事バランスの傾向も把握できると尚良い。 ・国保の特定検診受診率は把握されているが、現役世代の多くはこれに含まれない。現役世代全体の受診状況を把握するため、参考データとして他の健保組合の情報を記載してはどうか。

(5) 分野別計画

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	

事業No.	122	事務事業名	地域外来・検査センター事業
基本目標	7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
小戦略	①	新型コロナウイルス感染症対策の推進	
分野別計画	飯田市健康増進計画「いいだ健康 21」		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

妥当である。

- ・ 医師会や医療機関の協力により充実した体制を構築し、採取日に検査結果を得られるなど、他の自治体に先駆けた取り組みは評価する。

次年度以降に対する判断

継続

事業No.	131	事務事業名	市民の健康づくり事業
基本目標	7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
小戦略	②	市民、地域とともに進める健康づくり（働き世代からの生活習慣病予防）	
分野別計画	飯田市健康増進計画「いいだ健康 21」 他		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

概ね妥当。

- ・ 企業出前講座や消防団健康教室の開催は新型コロナの影響もある中、成果が見られる。

働き盛り世代からの生活習慣病予防には、職場での意識づけが最も効果的と思われるが、その意味で企業出前講座をどう広めていくかが課題。

- ・ 消防団健康教室において、要医療 18%、高度異常値あり 38%と、半数以上に問題があるという結果が出ている。この数値を、働き盛り世代の意識を変えるために活用するべき。
- ・ 事業目的の対象が「市民」とあるが、これは「働き盛り世代など」とすべきでは。

次年度以降に対する判断

継続

事業No.	133	事務事業名	健康診査事業
基本目標	7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
小戦略	③	後期高齢者を対象とした保健指導（健康づくり）	
分野別計画	飯田市健康増進計画「いいだ健康 21」		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

概ね妥当と考えられる。

- ・この事務事業は「がん健診」に重点が置かれてると思うが、小戦略の評価シートには、がん検診に関する記述が皆無で、受診率の推移などのデータも記載がなく、評価をしにくい。後期高齢者健康診査受診者数についても、659人という数値をどう評価して良いかわかりにくい。

次年度以降に対する判断

継続

事業No.	134	事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業
基本目標	7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
小戦略	③	後期高齢者を対象とした保健指導（健康づくり）	
分野別計画	データヘルス計画		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

概ね妥当。

- ・KDB システムを活用し、レセプトデータ等の分析から、高血圧症の課題を抽出したことは評価できる。
- ・通いの場を通じた歯科指導の後、1カ月間の口腔ケアの取り組みで口腔機能改善が見られたこと、その効果を検証する取り組みは評価する。

受診率算出にあたり、通院しているのに健康診断を受けなくてもいいと判断している人を考慮した算出方法も検討されたい。

- ・高齢者の健康保持には、働き盛り世代からの取り組みがあつてこそ。目的・対象の後期高齢者になってから何かに取り組んでも効果は限定的。当該事業の成果を上げるにも、事務事業No.131の取り組みは重要。
- ・活動指標の「フレイル予防の口腔指導」について、回数よりも人数の方が良いと考える、また、指導後の様子が追えるのであればなお良いのではないか。

次年度以降に対する判断

継続

事業No.	312	事務事業名	国民健康保険特定健康診査・特定保健指導事業
基本目標	7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
小戦略	②	市民、地域とともに進める健康づくり（働き世代からの生活習慣病予防）	
分野別計画	飯田市健康増進計画「いいだ健康21」 他		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

対象となっている国民健康保険被保険者(40～74歳)に対しては、妥当。

- ・高血圧に焦点を絞った予防健康指導の取り組みは評価する。

特定健診と寿命との相関は取れるか検証。

- ・インセンティブ事業は推進すべきと考えるが、ポイント制などその運営方法、導入後の検証方法を整えてはじめるべき。

次年度以降に対する判断

継続

事業No.	316	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業
基本目標	7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
小戦略	④	介護予防（重度化防止）の推進	
分野別計画	高齢者福祉計画、介護保険事業計画		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

妥当。

- ・介護予防・生活支援として、訪問型・通所型・配食見守りサービス、介護予防ケアマネジメントを行い、一定の実績を上げていることは評価できる。

次年度以降に対する判断

継続

事業No.	317	事務事業名	高齢者健康づくり事業
基本目標	7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
小戦略	③	後期高齢者を対象とした保健指導（健康づくり）	
分野別計画	高齢者福祉計画、介護保険事業計画		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

概ね妥当。

- ・各所で「いきいき教室」を開催し、運動・口腔・栄養指導などを行っていること、また健康状況の把握や健康相談を個別にも行ってきたことは評価できる。

「フレイル」の意味や考え方を広く市民に周知することで、その予防につなげる必要がある。意識啓発や事業展開を図られたい。

- ・フレイルの意味や考え方を広く市民に知ってもらう方法を検討し、戦略的な周知に努められたい。
- ・自身の健康維持に対するインセンティブ提示などを検討されたい。

次年度以降に対する判断

改 善（予算反映有）

- ・フレイルの周知に予算付をして進める必要がある。

基本目標 8 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる

1 基本目標の 2021 年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	概ね妥当。 ・“地域コミュニティのあり方”が目標達成に大きな影響を与える。コロナ禍が地域コミュニティに与えた影響は大きく、まずは実態把握と対策が求められる。
評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか	重層的支援体制の相談窓口が構築されたことは評価する。 ・地域活動による支え合いや住民相互の支え合い（共助）を推進していくためにも、行政によるサービスや制度（公助）についてもしっかりと説明をしていく必要がある。

(2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	8-①	地域福祉課題検討会の開催による地域福祉活動の推進
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		概ね役割を果たしている。 ・9人の地域福祉コーディネーターを軸とした活動がさらに充実するよう取り組まれない。 ・近所や隣同士で助け合いができる関係づくりが推進されるよう、検討されたい。

年度戦略 (小戦略)	8-②	住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		概ね役割を果たしている。 ・有事の際に住民支え合いマップが活用できる状態にしておくことが求められる。 ・民生児童委員の負担軽減に向け、引き続き検討に努められたい。

年度戦略 (小戦略)	8-③	複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		初年度の取り組みとしては役割を果たしている。 ・重層的支援体制の周知が足りていない。 ・体制整備で終わることなく、相談者にどこまで伴走することができるのが今後の課題である。 ・利用者の反応を把握するとともに、真に支援を必要とする人へ情報が行き届くよう努められたい。

年度戦略 (小戦略)	8-④	障がい者の社会参加の推進
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		概ね役割を果たしている。 ・障がい者の就労は大事な視点であり、把握している情報は説明資料に記載されたい。

(3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	概ね反映している。 ・相談者に寄り添った対応や、福祉を必要とする人を見落とさない、見逃さないため体制や制度の構築が求められており、取り組みの不断の見直しの姿勢が求められる。

(4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	・「地域支え合い活動推進事業実績」に、事業の進捗が分かる表記をされたい。 ・創出される地域福祉活動のモデル数に、該当する地区数を付加するよう要望する。

(5) 分野別計画

▼いいた未来デザイン 2028 戦略計画【2021（令和3）年度】分野別計画一覧

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	

事業No.	93	事務事業名	重層的支援体制整備事業
基本目標	8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	
小戦略	③	複合化・複雑化した課題解決に向けた重層的支援体制の構築	
分野別計画	飯田市地域福祉計画・地域福祉活動計画		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

初年度としては妥当であり、評価できる。

- ・令和3年度において関係組織と連携し「福祉まるごと相談窓口」を開設して個々の相談者に適切に対応したことを評価する。
- ・相談対応件数が計画値の10倍以上であり、取り組み、相談・課題解決の実績を上げていることは、評価できる。

今後の福祉施策にとって重要なこの事業は予算を増額してでも周知に取り組む必要がある。

- ・厚生労働省の重層的支援体制整備事業では相談支援と地域づくり支援が両輪として実施されるべきとしている。令和3年度において相談支援は整ったものの地域づくり支援、市町村において、全域の住民を対象とする包括的支援の体制整備を行う事業は飯田市においてこれからの課題である。

次年度以降に対する判断

改 善（予算反映有）

- ・周知に対して予算増

基本目標 11 地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進

1 基本目標の 2021 年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	<p>概ね妥当。 ただし、基本目標を取り巻く状況が記載されていないため、ねらいとの関係性がわからない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に対しての市民への啓発が不足している。 ・地球環境への配慮についての現状認識については、その関係性を課題別に明確に示されたい。
評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか	<p>個々の取り組みは評価できるが、課題を市民が共有するまでに至っていない。 ゼロカーボンシティ宣言から1年が経過するが、市民を巻き込んだ具体的な取り組みが見えない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ3Rの推進、ZEHの推進、再生エネルギーの活用など、市民益とどう結び付けていくのかが問われる。市民の関心度を高めるためにもこの点を明示されたい。 ・「地球環境への配慮が当たり前の暮らし」について、まちづくり委員会との連携や、若者の共感を得るにはどうしたらよいかに着目し推進されたい。

(2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	11-①	ごみの3R(減量・再使用・再資源化)を地域ぐるみで推進
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>成果は評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭でのごみの分別は進んでいるが、ごみの減量(フードロス等)の取り組みは弱いので、地域ぐるみのごみの減量に取り組まされたい。

年度戦略 (小戦略)	11-②	家計や事業経営を助ける省エネ型への転換
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>取り組み内容は評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費は事業所のほうが圧倒的に多い。関連団体として商工会議所などと連携するなどして進められたい。 ・家庭からの省エネは地域ぐるみの取り組みとなるよう支援されたい。 ・飯田市版 ZEH 住宅の推進にあたっては、メリット、デメリットも明らかにして市民に周知されるよう取り組まされたい。

年度戦略 (小戦略)	11-③	エネルギーの域産域消による環境と経済の地域内好循環と防災力の強化
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>取り組み成果は評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小沢川水力発電については、費用対効果などを検証しつつ適切な進捗管理を実施されたい。

		<ul style="list-style-type: none"> ペレットストーブについては、コストや発熱量の面で課題が多い。今後も十分な検証を行ったうえで、事業を進められたい。
年度戦略 (小戦略)	11-④	リニア駅周辺におけるモデルエリアの構築
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>7件の実績があったが、戦略の考え方を当該エリアに求めていくのは無理がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮するモデルエリアを構築するのであれば、ZEH住宅のみならず、周辺エリアの環境に配慮した緑地帯や公園整備などにも取り組まれたい。

年度戦略 (小戦略)	11-⑤	生活をよりよく心豊かにする環境学習と実践の推進
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>取り組みは評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジオパークに関しては市民に対しての周知が足りていない。 ジオパークへの取り組みは環境の視点だけでなく、地域づくり・教育面・地域振興（観光面、他）につながる全庁的な取り組みの推進を図られたい。

(3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	<ul style="list-style-type: none"> 戦略の考え方にあるグリーンリカバリーはまだ認知度が低いため、ここを精力的に取り組まれたい。

(4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	<ul style="list-style-type: none"> 現在の指標は、戦略との関連性の点で全体に分りにくい。この点を見直すと共に、市民の省エネへの取組が見えるような指標を検討されたい。

(5) 分野別計画

▼いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2021（令和3）年度】分野別計画一覧

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	

事業No.	141	事務事業名	自然環境保全推進事業
基本目標	11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	
小戦略	⑤	生活をよりよく心豊かにする環境学習と実践の推進	
分野別計画		21' いいだ環境プラン第5次改訂版	

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

- ・事業費がエコパーク・ジオパークの負担金関係が主で、年度戦略の意図にある環境学習に使われているとは思われない。
- ・活動指標も環境学習を計るものではないので、戦略計画の地球環境への配慮に繋がる活動指標が足りない。

次年度以降に対する判断

改 善（予算反映無）	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスジオパークの取り組みは、単独事業として産業経済部、教育委員会などと横断的な取り組みとされたい。 ・活動指標について環境学習に係る活動指標を検討されたい。
------------	---

事業No.	142	事務事業名	環境教育推進事業
基本目標	11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	
小戦略	⑤	生活をよりよく心豊かにする環境学習と実践の推進	
分野別計画		21' いいだ環境プラン第5次改訂版	

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

- ・小学生からの副読本「ごみ探偵団が行く」の取り組みや講演会・研修会の開催により参加者が目標値に対し491名に達していることは評価できる
- ・ポスターや副読本制作に事業費が費やされているが、環境教育プログラムによる人材教育に充てる事業費が少ないのではないか。また、人材教育の実績について把握されていない。

次年度以降に対する判断

改 善（予算反映無）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的にある環境保全の理解について、市民全体の理解と意識の向上につながる工夫をされたい。 ・活動指標も意識向上の推移が分かるものも加えられたい。
------------	---

事業No.	143	事務事業名	地域エネルギー普及事業
基本目標	11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	
小戦略	③ ④	エネルギーの域産域消による環境と経済の地域内好循環と防災力の強化 リニア駅周辺におけるモデルエリアの構築	
分野別計画	21' いいだ環境プラン第5次改訂版 飯田市地球温暖化対策実行計画		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

- ・地域マイクログリッドの実証実験を進めており、今後の地域内エネルギー循環が期待できる。
- ・小沢川小水力発電について、資材の高騰等により建設費が増大する懸念があるのでは。
- ・ペレット事業は見直し、薪ストーブを自然にやさしい飯田のブランドになるような地域エネルギーとして推奨していくことが飯田らしさに繋がるのでは。

次年度以降に対する判断

改善（予算反映無）	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田独自の地域エネルギー事業として、薪の利用、水素など新たな取組みの可能性を検討されたい。 ・小沢川小水力発電に関し、費用対効果を含む適切な進捗管理も実施されたい。
-----------	--

事業No.	144	事務事業名	省エネルギー推進事業
基本目標	11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	
小戦略	② ③	家計や事業経営を助ける省エネ型への転換 エネルギーの域産域消による環境と経済の地域内好循環と防災力の強化	
分野別計画	21' いいだ環境プラン第5次改訂版 飯田市地球温暖化対策実行計画		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

- ・家庭省エネコンテストについて、振返り課題認識にあるように、より多くの参加となるよう工夫が必要では。
- ・エコハウスの管理に大きな予算がかかっている。これまで省エネルギー推進にどれだけ寄与してきたか検証する時期かと思われる。今後、ZEH 住宅の普及にどれだけ効果が上がるかをみながら、費用対効果を検証し事業を進められたい。

次年度以降に対する判断

改善（予算反映無）	<ul style="list-style-type: none"> ・ZEH 住宅の普及にどれだけ効果が上がるかを見ながら、費用対効果を検証し事業を進められたい。 ・省エネルギー社会構築のため、企業・市民による全市型の取り組みへ発展させるように取り組まれたい。
-----------	---

基本目標	12	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る
-------------	-----------	---

1 基本目標の2021年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	<p>認識は妥当。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員不足に対する認識はあっているが、行政としてこの事態をどう評価しているかの記載がないため検討されたい。 ・市民全体の災害に対する危機意識をどのように高めていくかが課題である。
評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか	<p>評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員確保は危機的な状況である。これを改善していくためには、行政としてどのように取り組むか検討されたい。 ・防災訓練の在り方をより実践的なものとされたい。 ・社会基盤整備にあたる、技能・技術者の育成支援への取り組みが見えない。

(2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	12-①	災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める
評価のポイント	12-①	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	概ね妥当。	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者名簿の作成を進めているが使いにくさに課題がある（個人情報の扱い）ので、名簿を有効に活用するために利用目的の条件などを定めた条例化等も検討されたい。 ・デジタル防災無線が聞こえにくいとの声がある。整備後の検証を進められたい。 ・ハザードマップの更新などに合わせ、多様な情報入手方法の周知を図られたい。

年度戦略 (小戦略)	12-②	災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施
評価のポイント	12-②	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	概ね妥当。	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市災害対策本部の充実にあわせ、各地区自主防災会の育成も進められたい。 ・避難所開設訓練においては、さらに詳細な視点（女性のプライバシー、高齢者への対応）できめ細やかな訓練を計画されたい。 ・実践的な防災訓練として他自治体で取り組まれている、安否確認のための「黄色いハンカチ作戦」など、好事例等の紹介も検討されたい。

年度戦略 (小戦略)	12-③	飯田市第12次消防力(消防団)整備計画に基づく消防力の維持・向上
評価のポイント	12-③	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		<p>資器材の確保は確保が進んだが、団員確保については行政の主体性が見えず課題がある。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の確保は消防団だけの課題ではなく、市全体の課題として行政も共に取り組むこと。 (行政としての取り組み方、女性団員確保、地域支援の在り方、家庭への直接支援、児童生徒へのPR活動など)
--	--

年度戦略 (小戦略)	12-④	通学路生活道路の安全確保と高齢者人身交通事故の抑止
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		概ね妥当。 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者への交通安全対策は、事例にある交通少年団の取組のほか、関係機関と協力し具体的な取り組みを進められたい。 通学路の危険箇所はまだ多く残っている。飯田市通学路安全対策アクションプログラムのもと、地域の実情を見て整備を進められたい。

年度戦略 (小戦略)	12-⑤	災害時にも都市機能が維持でき、暮らしを支える社会基盤の戦略的強靱化
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		概ね妥当。 <ul style="list-style-type: none"> 準用河川のみならず排水路、普通河川などの調査を進め、優先順位については地域の実情に配慮し、整備計画を立てられたい。

(3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会の育成、消防団員の確保については、これまでの取り組みを見直す中で、これまで以上に注力されたい。

(4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標 (KPI)、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の確保については、実態のわかる資料を提示されたい。 今後、現在進めている河川の危険箇所調査が終了し整備計画が策定された後には、改修状況を指標とされたい。 防災訓練への参加者は世代別参加状況など、詳細なデータの収集をされたい。

(5) 分野別計画

▼いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2021（令和3）年度】分野別計画一覧

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	

事業No.	243	事務事業名	防災対策推進事業
基本目標	11	災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る	
小戦略	① ②	災害情報伝達手段の多様化と避難の実効性を高める 災害対策本部の機能強化を図り、より実践的な防災訓練の実施	
分野別計画	飯田市地域防災計画 飯田市水防計画		

「評価視点・評価のポイント」からの 評価できる点、今後に向けた課題・方向性

- ・ 事業費の内、自主防災会育成事業は資機材整備補助制度なので、ソフト事業として地域の実情に合った自主防災会の育成など、人材育成や組織強化に目を向けた事業が必要では。
- ・ 避難所開設訓練においては、コロナ対策や女性のプライバシー保護、高齢者対応など実態に即したきめ細かな訓練も必要ではないか。

次年度以降に対する判断

継 続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の実情に合った自主防災会の育成など、人材育成や組織強化に目を向けた活動にも取り組まれない。 ・ 他自治体で取り組まれている、災害時での安否確認の手段「黄色いハンカチ作戦」を検討されたい。 ・ 避難所開設訓練においては、コロナ対策や女性のプライバシー保護、高齢者対応など実態に即した訓練の実施をされたい。
-----	---